

レベル1の例（イメージ）

＜例1＞

区 分	内 容	
事業概要	公園・歩経路の整備	
区分※	構成資産・緩衝地帯	
関係法令	文化財保護法、自然公園法	
主な改編・規模	公園・歩経路を新たに整備する。公園は、移転した売店跡地における整備であり、富士山方向への景観も改善する。 ・公園整備：面積約 300 m ² ・歩経路整備：延長約 100m ・転落防止柵：延長約 100m	
施工上の配慮	歩経路は土系舗装で周囲との調和に配慮	
定点観測地点 からの視認	展望景観	視認できない。
	周辺景観	改善される。

＜例2＞

区 分	内 容	
事業概要	標識の整備	
区分※	構成資産	
関係法令	文化財保護法、自然公園法	
主な改編・規模	新規：高さ 1.9m、幅 1.7m程度の標識を 6 基新たに設置 改修：2 基の標識を盤面のみ改修	
施工上の配慮	・樹木の伐採や草木類の除去はできるだけ避けること ・富士山における標識類総合ガイドラインを参考にすること	
定点観測地点 からの視認	展望景観	視認できない。
	周辺景観	改善される。

※区分＝「構成資産」、「緩衝地帯」、「緩衝地帯外（周辺）」の別